

着任にあたって



本年4月1日に、西村前校長の後を継いで、名誉ある南高等学校の第15代校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

同窓会におかれましては、南高の充実、発展のために様々な面で、ご支援、ご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。今後も、本校の教育目標「自主自立の精神を培い、調和のとれた人間の育成を図る」よう努めてまいります。

さて、横浜市教育委員会では、平成20年度から全国に先駆け、高校の学校評価において、第三者による評価を導入することとしました。また、

校長 手老貞行

今後の国の学習指導要領を見据えながら、昨年度3月に横浜市としての「高校版学習指導要領・総則」を策定したところです。その学習指導要領では、社会体験活動として、高校生が取り組めるような社会貢献的活動などの実施が義務づけられています。南高においても、こうした第三者評価や横浜版の学習指導要領を踏まえながら、市民から選ばれる学校であることを再度認識直し、南高は、県立高校や他の高校とは異なる、単なる進学校ではない学校文化を守りつつも、生徒が描いた進路希望を達成でき、さらに一層、国公立大学や難関私立大学への進学を叶えることができるようにすることが使命であると感じています。どうぞ、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

同窓会報

発行：2008年5月18日
 横浜市立南高等学校同窓会
 事務局：電話 045-712-1040
 FAX 045-743-4475
 URL http://nanko-ob.com

52期生を迎えて 会長 小後摩基（5期）

ご卒業おめでとうございます。また同窓会への入会ありがとうございます。

母校は4月より西村校長が退職、永野副校長が戸塚高校定時制に昇格転任となり、新校長に教育委員会より手老先生、副校長に金沢高校より金山先生、また緑川先生が昇格して着任し、南高初の副校長2人制となりました。前校長の西村先生は玉川大学で教鞭をとるとのことですので、大学で先生に再会される方も居られることでしょう。

同窓会は創立52年目となり、先輩の方々は諸官庁、法曹界、教育界、経済界等々で社会における責任と貢献を果たしております。既に10期生前後まで仕事での定年を迎えておられる方がほとんどです。もちろん第一線でバリバリと活躍の同窓生も居られますが、初期の同窓生は概ね仕事での第一線を退いておられる方が多いと思います。その方々も町内会、地域ボランティア等で奉仕の精神を持ち、地域貢献でご活躍です。お会いして初めて自己紹介をすると、お相手が「南高の同窓生」であったということがしばしばあります。

1期生が70～71歳ですから、こういう方は地域での重鎮となって居られるわけです。

皆様のような若い同窓生には理解しがたいことかもしれませんが、年齢を重ねていきますとその良さが理解できるようになってきます。本年も10期生が卒業して初めての同期会を開催する計画がありますし、5・6期生は5年ごとに同期会を数回にわたって開催しております。もちろん同窓会は同期会のためだけではなく、在校生の経済的にお困りの生徒達に対し、教科書代等を支給し支援しております。また、スポーツ、文化面で顕著な成績を上げた生徒を顕彰し、後輩達の励みにしております。

52期の卒業生の皆様も将来を見据えて、未入会の卒業生を同窓会に加入するようお願いいただき、卒業生が全員同窓会に入会されることを切にお願い申し上げます。



平成20年度教職員異動

離任者教職員

職種・教科	氏名	勤続年数	移動先
学校長	西村哲雄	3	退職
副校長	永野和行	2	市戸塚定
国語	西村雅美	9	市東
国語	畠中孝子	9	市桜ヶ丘
国語	緑川あつ子	10	市南
地歴公民	牧野 潔	10	市桜ヶ丘
数学	多田久幸	3	市横総 後
理科	相川弘二	8	事務局
理科(臨)	高橋達人	1	大学院
保健体育	佐々木友彰	10	市戸塚
保健体育	望月光雄	11	市横総 前
情報	大原直志	5	市横総 前
英語	西村小百合	8	市横浜商業
養護(臨)	大八木宏美	2	南台小学校
司書(臨)	土屋奈々	3	市戸塚定
技能吏員	遠藤静夫	4	鶴見小学校

着任者教職員

職種・教科	氏名	前勤務先
学校長	手老貞行	市教委
副校長	金山康男	市金沢
副校長	緑川あつ子	市南
国語	上原哲也	市鶴工
国語	廣瀬 公	市みなと
国語	市川綾子	市東
地歴公民	片山浩行	市桜ヶ丘
数学	古田 宏	市戸塚
理科	花房 勉	市東
保健体育	南原克一	市戸塚定
保健体育	有賀絹代	市戸塚
芸術(美術)(臨)	木村有貴子	市金沢
英語	飯塚城永	市みなと
情報	坂戸英明	市みなと
養護(臨)	春木紀美	新卒
司書(臨)	渡邊香利	市金沢
技能吏員(再)	村上光男	安全管理局(消防)

【危機にさらされている同窓会】会報担当 比留川 秀一（23期）

<同窓会の現状>

4月1日に52期卒業生の加入で南高同窓会の新年度が始まりました。53名の新しい仲間を加え本会は18,987名となりました。2005年までは卒業と同時に全員が自動的に入会というシステムでしたが、2006年以後は入会の意思表示は任意となり、50期は273名中129名、51期は310名中149名、そして今年は52期312名中53名と激減する一方という現状です。つまり南高入学⇒卒業⇒同窓会入会という図式はすっかり崩れ去ったということです。この結果、同窓生でありながら同窓会員ではないという人が564名も出てきてしまいました。(数

字はすべて4月1日現在です)

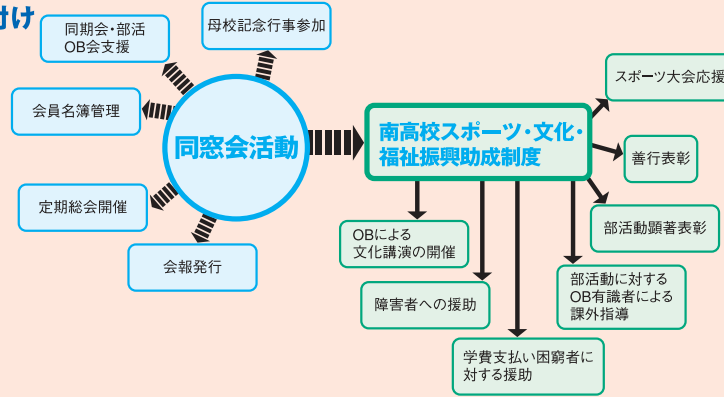
<活動縮小の危機>

このため同窓会活動の柱となる「南高校スポーツ・文化・福祉振興助成制度」(通称・南高振興制度)に大きな影響を被っています。というのはその運営資金は主に卒業・入会と同時に納入していただく終身会費と南高振興制度に賛同していただける方からの協力金から成り立っているのです。ついに本年度から“暫定的”という但し書きがつくものの、学費支払い困窮者に対する教科書代援助も全額とはいかない状態に追い込まれてきました。同期会支援も初回のみ支援となり、

南高同窓会 Web Pageのご案内
<http://nanko-ob.com>

(南高振興制度) へのご協力のお願い!!

◆南高振興制度の位置付け



あなたの心を!
あなたの手で!
あなたの力で!
在校生への支援を!

部活OB会支援は打切りとなりました。(同窓会活動と南高振興制度の関係については別表を参照)
くこれからに向けて>

何故このような状況に陥ってしまったかという、まずは近年の社会情勢の変化により個人情報保護の観点から、強制的に名簿に載せて管理することが問題になってしまったことが挙げられます。しかしながら本会では皆様からのお預かりした情報は同期会、クラス会、クラブOB会等同窓生の親睦会開催のために会員名簿として適切に作成管理しております。次に考えられる要因は、入会者資格者(現役生徒)への同窓会の存在の周知

と入会の勧誘活動が今ひとつ足りなかったのではないかと。必ずしも積極的に協力してくれない学校側の姿勢を考えれば、今まで以上に同窓会自体が表に立って啓蒙活動をしていく必要があります。そのひとつとして今回、同窓会報を南高生にも配布することになりました。これによって紙一枚分の距離でも縮まって同窓会に関心を持ってもらい、卒業と同時に入会してくれることを期待します。参考までに、今年10期生の同期会がなんと卒業後42年振りに開かれるそうです。これも同窓会名簿に頼らずして容易に実現できたでしょうか?

◆活躍する同窓生

神田阿久鯉 真打昇進!!



萌え出る皇居の新緑に迎えられ、4月20日東京會館にて、華やかに、且つ、厳かに300余名の方々へ祝福を受けく神田阿久鯉、真打昇進の宴席が催されました。

南高30期同窓生より女流講談師真打が誕生いたしましたことは、何よりも誇らしく嬉しい限りであります。

宴席にて講釈師先生方より、本流の連続講談物を勉強することは講談師の中でも大変難しいようで、それを目指している阿久鯉さんはめずらしい存在と、期待をこめてのお褒めの祝辞でございました。これまで、阿久鯉さんご自身の大変な努力があったことは言うまでもありません。が、天性の人を寄せ付ける語り口は、祖母津軽のジョッパリ娘の根性が根底にあるのかもしれませんがそれは大変な魅力であります。これからますますご精進されご活躍されますようにお祈りいたします。

◆20期同期会レポート



南高校20期生、第一回目の同窓会が2007年5月2日、横浜港を一望するホテルコンチネンタル横浜の最上階で盛大に催されました。会場は南校生らしくラブなセッティングで懐かしい恩師の先生方にご挨拶ができ、また会いたかった旧友達にも会え、最上のひとときを過ごすことができました。

ご出席下さいました浅見先生、蕪木先生、葛野先生、関先生、石原先生、また祝電をお送り下さいました先

生方、本当にありがとうございました。

明るく前向きな愛すべき南高気質を回顧し、五十歳という人生の節目に新たなスタートラインに立ったような新鮮な思いを抱けた夜となりました。

会の企画から準備その他の面倒を一手に引き受けられ、日々の教職の中、多大なる時間をさいて下さった我らが陸上部のホープ、佐々木友彰さんに心から感謝いたします。

The Long And Winding Road、たすきはこの日、各クラスに手渡され、次回開催日はオリンピックの年のゴールデンウィーク初日と決まりました。現在100枚の戻り葉書があり、まずはそこからの始動ですが次回、一人でも多くのランナーと再会できますことを心より祈念いたします。

感謝をこめて

植木令子&舟見麻理

◆41期同期会レポート

幹事 岩村 公太

10月27日、上大岡ゆめおおおかオフィスタワー12階で、41期同窓会が開催されました。

会場として当初予定していたレストランが同窓会開催日の直前にテナントを撤退させてしまい、会場を急ぎ変更するというハプニングがあった上に、もうじき11月だという、この日は同窓会に合わせるかのように、夕方に台風20号が関東を直撃。波乱の幕開けとなりました。それでも、会場には傘を台風に折られながら、60余名が集まりました。

41期全体が集まる同窓会は卒業後ちょうど10年という節目の年にして、初めての開催。鈴木先生の乾杯で始まり、おのおののテーブルでは旧友との再会を喜び、高校時代の思い出話や、高校卒業後の進路、就職、結婚などの話題で盛り上がる姿が見られました。

後半は豪華景品を賭けたビンゴ大会、最後は川辺先生に挨拶をいただき、次回2017年開催予定の第二回同窓会での再会を誓い、解散となりました。お集まりいただいた皆様ありがとうございました。



2007年度 南高校 同窓会表彰者

団体

弓道部 全国高等学校弓道選抜大会出場
第2回全国高等学校選抜遠的弓道大会女子団体3位
第51回関東高等学校弓道大会出場
第7回東日本高等学校弓道大会出場

陸上競技部

第11回関東高等学校選抜新人陸上競技大会出場

個人

蓮沼恵実 3年1組 第62回国民体育大会出場
岡本 健 2年5組 関東高等学校個人選手権選抜大会準決勝進出
吉澤美聖 2年7組 関東高等学校個人選手権選抜大会出場

高橋明日香 1年2組

第1回日本ユース陸上競技選手権大会女子100m、200m競争出場
2008日本ジュニア室内陸上競技大会女子60m競争出場
第49回神奈川県高等学校新人陸上競技大会女子100m第2位
第49回神奈川県高等学校新人陸上競技大会女子200m第3位

久保寺史織 1年8組

シンクロナイズドスイミング日本選手権大会出場コンビネーション第7位
シンクロナイズドスイミング日本選手権大会出場チーム第13位
全国JOCジュニアオリンピックカップ2007出場デュエット第7位
全国JOCジュニアオリンピックカップ2007出場チーム第7位
チャレンジカップ出場チーム11位
県ジュニア選手権出場デュエット第1位